

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 からふる		公表日		2026年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指導室が広く視角がないので部屋中見渡しやすい。個室も完備されており、壁面等が各部屋用途によって工夫があるので落ち着いて過ごすことができる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		利用人数に合わせて職員の配置を考え活動を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		利用児が活動に参加しやすいようにおもちゃ等は使用する際に準備をしている。個室トイレを完備しており利用児のプライバシー面にも配慮されている。 気づいた点は職員間で共有しながら子どもたちにとって生活しやすい環境づくりを行っている。 ロールカーテンで仕切るなど状況に合わせて環境づくりができる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		指導室内は物をあまりおかず、利用児が活動中に気になって集中できない物等は片付けたり目隠しをするなどに配慮している。 子どもたちの降所後毎日掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室内も常に整頓してあり使用できる状態になっている。主に指導室で活動を行うため個別で落ち着きたい状況の時はロールスクリーンやマットで仕切りを作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		利用児降所後に職員間で振り返りの会議を行い共有している。 毎日振り返りを行っている。 業務後の振り返り時間が日々あり出来事や悩みを共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		いただいた意見を参考に職員で話し合いを行い今後の業務に取り入れていけるように日々努めている。 保護者からの意向をスタッフ間で共有して話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		利用児降所後に職員間で振り返りの会議を行い共有している。 業務後に意見を出す時間が日々あるためリアルタイムで改善の方法が検討できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		今後実施していく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部、外部研修に参加をし、日々の業務、支援にいかしていけるように努めている。 多くの時間、必要な研修や勉強会を行っているとと思う。	
適切な支援の担	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングの場が設けられている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画作成後も職員で共有し、新たな意見などがあれば作成の見直しもしている。 職員同士で経過や目標等一緒に考え振り返り共有できていると思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		以前使用していたものがあるが、今後新たに導入していくアセスメントがあり、活用していきたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月、月週案を作成し一つずつの活動ごとに目的をもって活動を行えるように職員間で共有している。 職員間で相談し合いながら1日のスケジュールを計画している。 意見を出しあいチームでよりよいものを考えている。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月違った遊びの目的を考え、利用児が楽しんで参加できるように工夫している。 月週案をもとに子どもたちの姿をみながら工夫、改善している。 日々変化のある事業所＝からふるだと感じることが多い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団でルールのある遊びを行ったり、集団の中でも一人一つの机に向き合って行う個別課題も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝のミーティングを行っている。 登所前にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		利用児降所後に振り返りを行い、職員間で共有している。 日々共有できている。出勤しなかった日も記録を振り返り情報を得ることができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		振り返りの内容を使用しているアプリ内に保存している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングやケース会議を定期的に行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者や相談員を通して連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者を通して園との連携を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	保護者や相談員を通して連携を行っている。 保護者や相談員を通して共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			今後機会を設けていきたい。 今後実施していく必要がある。
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後このような機会があれば積極的に交流できたらと思う。 今後機会を設けていきたい。 今後関われる機会を作っていければと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		登所時や降所時に話す機会があり、連絡帳などで伝えあう方法なども行っている。 登所時、降所時に保護者と話し合いをしながら情報共有に努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		今後開催していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者の方から受けた相談などは即答せず自分だけでなく他職員の考え等も聞いてから答えるように心がけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		以前は参観を行ったり、今年度は親子イベントを行っている。3月に保護者会イベントの実施を予定している。芋堀りの親子イベントを行ったり、3月にもイベントを計画している。今後イベントなどでより交流機会を増やしていければと思う。イベント時には保護者同士で交流できるタイミングを設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラム、リタリコブログ、お便り、玄関には活動予定や活動写真をのせて発信をしている。職員で交代しながらSNSの更新を行っている。インスタグラムやブログなど毎月発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		常に意識をしている。外部発信（SNS等）をする際も職員で確認を行い気をつけている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		過去に開催したことがあるがまた機会があれば実施したい。過去に行った。今後も開催していきたい。別事業所との合同イベントはあるが事業所単独では利用者に対するイベント・行事が多い。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月避難訓練を実施している。月に1回避難訓練を行っている。シミュレーションを変更しながら定期的に訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		職員で共有できている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットの報告書を作成し全職員へ共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を開き話し合いも行っている。一番時間を費やし職員の研修機会をいただいていると思う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				